



祐介の目

No.113

大田祐介 (福山市議会議員)

風の時代

最近聞いた話だが、占星術によれば2020年末、地の時代が終わりを迎え、新しい【風の時代】が始まるという。占星術では火↓地↓風↓水というサイクルが切り替わる節目で必ず世界中で大きな変化が起こると言われている。以前の地の時代に重視されてきた会社や組織、学歴やブランド、資産といった物の価値が薄れ、個性やセンス、本能や自己決定能力といった目に見えないモノが重視されるそうだ。

今から220年前、火の時代から地の時代へ切り替わった際に産業革命が起きた。そして今回の移行の節目に起こったのが新型コロナウイルスの登場だろう。全世界の景色を一変させたコロナが、まさに新時代の幕開けとなり、アフターコロナとは風の時代の到来を意味するらしい。

占いの話はこの程度にして、これからは「風」を読む時代

になることは間違いないだろう。例えば風任せのヨットはひとたび岸壁を離れ出港すれば、ヨットクルーは操船や安全に関する船長の命令には絶対服従となる。当然、船長には強力なリーダーシップが求められるし、それに応える個々の能力も必要だ。

登山もしかり、登山隊におけるリーダーの役割は重大であり、常に先頭を歩いてルート確認やパーティーの安全確保に努めなければならぬ。冬山で天候が急変した際にその場で雪洞を掘るか、安全地帯まで下山するかが遭難の岐路となる。その際一人でも足を引く張るメンバーがいると全員が遭難しかねない。

最近、風を切って走るオートバイがブームだ。両手両足による操作に加えて視覚・聴覚等を研ぎ澄ませて運転しないと事故を起こす。特にレースの世界ではお互いの技量を信頼していないとあのような高速でテールtoノーズのバトルはできない。

ヨットクルーも登山。パーティーもライダー仲間も運命共同体であり、アフターコロナはリーダーを中心に各自風を読む訓練が必要と感ずる。さらには強風を読めるリーダーの待望論が出ることだろう。